

障害者が高齢者の生活を支えるまちづくり事業【青森県】

事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業 【介護・福祉分野】

事業概要

障害者が高齢者の生活を支える体制づくりをモデル的に実施し、障害者雇用のノウハウの蓄積と高齢者ニーズに適合した給食サービスのシステム化を図るとともに、コミュニティビジネスとして確立することを目指す。



委託先

NPO法人サンネット青森
従業員数9人

新たな 雇用創出数

3人

事業費

559万円(平成23年度)

事業期間

平成21年7月
～
平成24年3月

サンネット青森理事長の根本あや子です
(前列中央)。

障害をもっている人も、そうでない人も、
老若男女、力を合わせ、市街地に障害
者のサービス活動拠点をつくっています。

業務内容

コミュニティレストランを運営する地域の他のNPO法人との連携により、安全・安心な「健康弁当」を、月・水・金の週3回の日替わり、1食500円で、お昼の時間帯に、地域の高齢者等の自宅へ配達する。配達には当法人の施設の利用者である障害者が一角を担う。

<委託業務>

- (1) 高齢者生活ニーズ調査
- (2) 給食サービスの実施
- (3) 高齢者への生活支援
- (4) 高齢者と障害者との交流



過疎地域でがんばるNPO活き粋あさむしのコミュニティレストラン「浅めし食堂」との協働活動です。

活動紹介

以前から、生き粋あさむしとは市民活動で知り合いました。過疎地のコミュニティレストラン「浅めし食堂」の支店を、いつか市街地でも開けたらと「夢」を語りあいました。

今回、支店開設まではできないけど、弁当配達によって市街地の高齢者に「健康弁当」を届ける「ソフト事業」を開始。

すると 弁当を受取る高齢者の喜びが、配達する障害者の励みに⇒ 障害者のやる気が弁当詰めの手伝いに⇒ 調理スタッフは時間にゆとりが出てより美味しい弁当作りに⇒高齢者の健康 …喜びの連鎖が生まれました。

この事業のセールスポイント

①障害者の福祉サービスを、地域貢献に展開した。②障害者は、サービスの受け手からサービスの送り手に。③安全・安心にこだわった「健康弁当」(良い商品)の提供。④地域の課題(食事に悩む高齢者、過疎、障害者の暮らしなど)の解決をめざした。⑤市街地と過疎地区との活動連携ができた。



お昼に弁当を届けます。



ごひいきのお客様

事業終了後の事業継続 ・雇用継続への展開

この間、障害者の利用が増え、雇用者3人のうち2人分の給与分程度の増収が実現しました。今後、2年程度でさらに利用者の増加をめざしつつ、3人の雇用を継続し、事業も継続することにしました。

生き粋あさむしの事業が広がる方向にあるので、より連携を強固にすることで、新規事業を開発したいものです。たとえば、市街地から過疎地への配達、過疎地区での障害者の仕事づくりなど。

ユニバーサルデザイン製品開発及び開発支援事業【福島県福島市】

事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業 【介護・福祉分野】

UDセンターでは、障がいのある方、お年寄りを含め、全ての方が利用・参加できる「ユニバーサルデザイン」の理念に基づき、授産製品開発や地域振興のための様々な活動を行っています。

事業概要

市民参加による、障がい者及び障がい者施設を支援し「地域で支える施設づくり」を目指した活動を実施。

- 施設の授産製品について、デザイナーとのコラボによる新製品の開発や製品のリニューアルをサポートし、ユニバーサルデザインの視点での製品開発及び開発支援を行った。
- 障がい者からお年寄りまで、幅広い市民の参加による遊休農地を活用した農業授産による地産地消のシステム形成を目指し、大波地区の営農者とともに景観作物のひまわり栽培や稲作り等を行った。

委託先

特別非営利活動法人
シャローム 従業員5人

新たな
雇用創出数

4人

事業費

1,433万円(平成23年度)

事業期間

平成21年10月
～
平成24年3月

対象者

1. 市内及び県北地区の障がい者施設
2. 施設近隣の地域の協力者



UDセンター スタッフ 玉川 秀典



遊休農地に植えた食用ひまわり



障がい者と地域の方との稲刈り

活動紹介

授産製品開発ワークショップの実施と製品開発

- ワークショップ「売れる授産製品を作ろう」開催

障がい者、施設職員、市民参加によるワークショップを5回に渡って開催。現在施設で製作している授産製品を取り上げ、現状把握、目標、問題点を明らかにしたうえで、参加者全員で改良可能な点を意見として出し合い、提言をまとめた。その後実際に改良案に乗っ取って製品を試作。

- デザイナーとのコラボレーションによる製品開発

それぞれ得意分野を持つ3つの施設(地域活動支援センター「なのはなの家」、知的障がい者通所授産施設「あだち共労育成園」、知的障がい者通所施設「あすなる」とデザイナーをコーディネートし、より訴求力のある箸袋を製作。

- 施設の授産製品の開発支援

- ◆ 友きゅうり

知的障がい者更生施設「もちずりワーク」で製作されたきゅうりの漬物について、収穫から加工まで協力。デザイナーに依頼し、製品ラベルを製作、提供。

- ◆ 蹄鉄のお守り

同施設で生産されていた蹄鉄のお守りを、ワークショップに準じて改良。



ワークショップ
実施風景

製作された
箸袋



「友きゅうり
パッケージ」

事業終了後の事業継続

・雇用継続への展開

大波地区では、本事業終了後に障がい者による地産地消の農業授産を展開する予定であったが、今回の原発事故による放射能汚染で、実現困難になってしまった。

その一方で、地域での活動や施設との関わりを通じて、特別支援学校卒業後、就労することができず、施設にも入れず、社会へ出ることができていない軽度の障がい者の多さを実感。

こういった方々を受け入れ、その生活基盤となりうる福祉施設の立ち上げを検討し、指定障害福祉サービス事業所「ベシク憩」の開設を決定。現在、4月からの開所に向けて準備中。UDセンタースタッフは引き続きその施設職員として雇用となる予定。

若年無業者の自立を支援する農工販作業等の就労事業【新潟県】

事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業
【介護・福祉分野】

こちらの軽食喫茶「茶の間」
で軽食の提供や農作物の販
売を行っています。

事業概要

ニート等の若年無業者へ、農作業や手工芸作業などの継続的な就労体験や、成果物の販売体験などの機会を提供・支援することで職業的自立を促し、本格的に就労へつなげていくもの

委託先

企業組合労協センター事業団
従業員数 6,723人

新たな
雇用創出数

3 人

事業費

約1,421万円(平成23年度)

事業期間

平成21年12月
～
平成24年3月

業務内容

様々な困難を抱え、働きたくても働けない無業の若者に向けた週1日程度のジョブトレーニングを受け入れ、安心して失敗できる環境の中で社会的な自立を目指します。

地産地消にこだわった食材を使ったランチやお弁当など、安心・安全な食の提供を実施します。

農家の協力を得て、農作業等の就労体験を実施すると同時に、店舗に併設した直売所で収穫物を販売して、地域住民の若者への理解を促し、交流を広げています。



新潟市の繁華街「古町」で
営業しています。



ジョブトレーニングを
行っている様子です。

活動紹介

現在、就労を目指しながらも様々な困難を抱える若者達に向けて、就労体験の場を提供しています。飲食店という形態を活かし、人と人との関係性を通じて彼らが就労したり、社会復帰への一歩を踏み出すお手伝いができればと思い、このお店を始めました。

生きづらさを抱えた若者たちにとって、家族以外の安心できる居場所や失敗してもやり直しがきく場の存在が彼らの生きる意欲に繋がっていると感じています。

彼らと一緒にゼロから作った落ち着ける雰囲気のお店でスタッフ共ども一生懸命おもてなしさせていただきます。

店内では、彼らが頑張っている姿を見ることができたり、土日は店頭で農家直送の新鮮な野菜の販売を行ったりしています。チョット変わったお店ですが、ぜひ一度のぞいてみてください。



地産地消にこだわった
おいしいお米のおにぎりランチです



土日には店頭で野菜直売を行っています

事業終了後の事業継続・ 雇用継続への展開

若年無業者の社会的自立に向けて、24年度以降も就労体験の場としての機能を継続させていくと同時に、新たに基本的な生活習慣や基礎学習能力を地域の中で身につけていく取組を予定しています。また、生活保護受給者や地域の高齢者を対象に配食サービス事業を実施して、見守りや就労意欲の喚起等を含めた総合的な支援に取り組んでいくこととしており、地域における中間的な就労支援の場として定着を進めたいと考えています。

「働く障害者応援カフェ」プロジェクト事業【愛知県】

事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業 【介護・福祉分野】

事業概要

イタリアンレストラン「たか倉」を設置・運営し、失業者に対する雇用の場を提供するとともに、障害者を雇用することで、障害者雇用の普及啓発を図ることができ、障害者雇用の場の拡大につなげていきます。

委託先

特定非営利活動法人パンドラの会
従業員数 55人

新たな 雇用創出数

16人
(うち障害者スタッフ
10人)

事業費

約6,390万円(平成23年度)

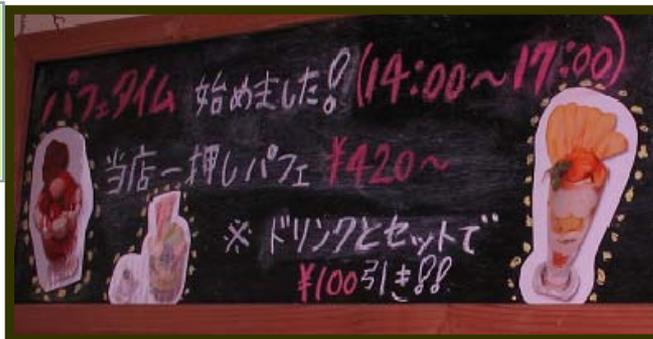
事業期間

平成22年6月
～
平成24年3月

業務内容

地元食材(野菜)を活かしたイタリアンレストラン「たか倉」の運営。
新規雇用者の業務は、店長、料理長、厨房での調理補助、料理の盛りつけ、接客etc

- ランチ
- パフェタイム
- デリバリー
- ディナー



パンドラの会は、もともと障害者の子を持つ母親たちが、我が子が将来安心して働ける場を自分たちで作ろうと始まった団体です。
本事業は、展開中の4事業の一つです。



送迎もやっています。
23年12月からパフェタイムを始めました。

活動紹介

イタリアンレストランたか倉を運営し、そこで障害者スタッフ10名を雇用しています。

シェフによる厳しい指導の中で、障害者スタッフはプロ意識を持ち、立派な戦力となって活躍しています。

地元では、おいしい野菜の料理店として話題となり、メディアにも多数取り上げられています。

特にスペシャルランチは、好評で女性客でにぎわっています。



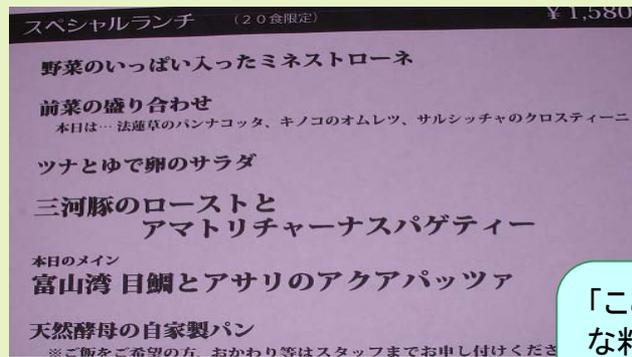
スープを入れるのが楽しい。
洗いものは、大変です。
荒谷 保志さん



皆で作ったものをお客さんが「美味しい！」と喜んでくれることが嬉しいです。

以前は金沢でシェフをしていたので、味付けを愛知にあわせるのが大変でした。

シェフ 入澤 崇さん



「ここで、いろいろな料理を作ることができるので、楽しいです。」
都築 義崇さん



「デザートへの盛りつけが楽しいです。」
二宮 真美さん
障害者技能競技大会(アビリンピック) 喫茶部門金賞受賞者

事業終了後の事業継続 ・雇用継続への展開

事業の継続は容易ではありませんが、お客様のニーズが高いメニューやサービスを選択し進めていきます。H23.8月に大手企業のデリバリーを、12月にパフェタイムを始めるなど、体制を整えて頑張っています。

障害によっては体調に波があり、仕事を続けることが負担になるため、勤務が長続きしない等の課題がありますが、現在、在職している障害者スタッフは「たか倉」という職場が大好きで、毎日楽しく働いています。

今後も事業を継続し、彼らのように障害者が生き生きと働き、活躍できる場の拡大を図っていきます。

障害者地域就労モデル事業【奈良県】

事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業 【介護・福祉分野】

事業概要

障害のある人が地域で自立した生活を送るため、就労及び職場実習の場を展開するとともに、それを核とした地域コミュニティの場を創造する。

委託先

労協センター事業団
従業員数 5,000人

新たな
雇用創出数

8人

事業費

約2,200万円(平成23年度)

事業期間

平成23年1月
～
平成24年3月

業務内容

障害のある人の自立への支援を行うため、地域において自ら仕事を作り出すことが必要であるが、その一つ的手段として障害のある人を中心とするカレーショップを運営し、就労及び職場実習の場を構築する。

地域資源を生かしたシンポジウム開催など、支え合いの理解啓発を実施しながら、カレーショップを核とした地域コミュニティづくりを図る。



障害者には、それぞ
れ得意技がある。それ
その得意技を見出
し、障害者の働く場
を、居場所をたくさ
ん作りたい！



オープン当日、これから頑張ります！

カレーショップすくら～むは障害のある人の就労場所を作り出し、障害のある人が自立に向けて働く為の場所です。また、地域のために様々なことを行っています。

■ 飲食店の運営(カレーショップ)

味が自慢のカレーライスの販売を中心に行っています。とても懐かしい味のする田舎カレーです。

他に、おいしいコーヒーも出しています。コーヒーは豆を挽くところから淹れるところまで障害のあるスタッフが調理します。

■ 料理教室

地域の方へ料理を教え、交流を図っています。生徒は初心者の男性が中心です。

■ 居場所づくり

2階の会議室を無料開放し、地域の集まりなどに使っていただいています。

■ その他

障害者への理解を深め、支援するにはどうすればよいかを考えるシンポジウムを行うなど、啓蒙活動も行っています。



スタッフは和気あいあい



シンポジウムの様子

事業終了後の事業継続

・雇用継続への展開

今後新たな人員配置を行って障害者の仕事に対する訓練、カレー販売に対するてこ入れを行います。

またこの先も、恋の窪という地域の中でお店を運営していきます。もっと深く地域に根ざし、地域のために何ができるかを考えながら事業を継続していきます。

カレー販売だけでなく、地域の方が困った時に気軽に相談できる相談場所のようなお店にしていきます。

インターネット古書店による、古書出品入力作業を通じた障がい者雇用創出事業 【島根県】

事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業
【介護・福祉分野】

事業概要

インターネットを通じた古書販売を通して、古書出品の入力作業等を行う障がい者を雇用する。

委託先

有限会社 エコカレッジ
従業員数 15人

新たな 雇用創出数

8人

事業費

約1,995万円(平成23年度)

事業期間

平成21年8月
～
平成24年3月



インターネットを活用し、
過疎地の商店街活性と
障がい者雇用の可能性を
追究しています。
(代表取締役 尾野寛明)

業務内容

ネット通販の古書店として、業務上欠かせない中古古書のネット上への出品作業を通じて、障がい者に雇用の場を提供しています。

年間数万冊の古本をネット上に出品しており、バーコードの読み取り、書込・汚れの程度を記載してオンラインで目録掲載するための作業が必要です。

簡単なPC操作と書込・汚れの判断力があればできる仕事です。ライン作業や来客のプレッシャーがないため、古本屋と障がい者雇用は非常にマッチしているといえます。



誰もが働ける環境です。

活動紹介

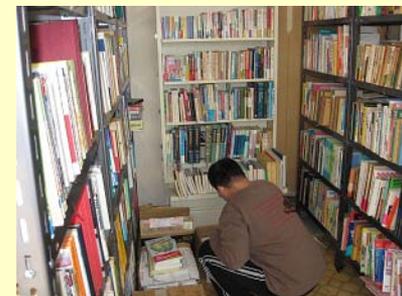
普段の活動は、午前中が発送作業、午後が入力作業と倉庫整理作業です。

発送作業は前日に入った注文伝票を印刷し、それを元に倉庫に保管されている古書をピックアップ、さらに顧客別に本を梱包してラベル等を貼っていく作業です。さらに仕事のできる人は、顧客の電話対応やメール対応も担ってもらいます。

送付先間違いを防ぐため、最終的なチェックは健常者が行っています。

午後になると、入力作業に入ります。早い人で1時間に15冊程度こなすことが可能ですが、突然体調が悪化し30分ほど全く作業ができずに休憩、といった様々な状況が発生します。集団作業ではないのでそのままの作業状態にしておけば構いませんが、積極的な休憩を促すなど健常者のフォローが必須です。

本の運搬は、自分でできる人は自分で、身体的に困難な場合は周囲の健常者もしくは障がい者が手伝っています。



倉庫整理作業



入力作業の環境

事業終了後の事業継続 ・雇用継続への展開

本事業を通じて業務拡大に取り組み、蔵書数5万冊→12万冊への規模拡大に成功。売上もほぼ倍増を達成し、8名雇用(健常者4名、障がい者4名)のうち、7名を継続雇用(健常者3名、障がい者4名)。さらに、新規で障がい者を1~2名増員予定です。

今後の課題としては、午前と午後で作業内容を入れ替えるとしてもミスやストレスが発生しやすくなることが判明したため、当面の間、発送作業を集中的に手がけてもらう体制へと変更予定です。

ふれあい・たすけ愛サービス事業【岡山県笠岡市】

事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業
【介護・福祉分野】

事業概要

外出困難者、高齢者等の生活支援を行う事業に取り組み、
地域で安心して暮らせる共助システムの構築を図る。

委託先

NPO法人子ども劇場笠岡センター
(ハーモニーネット未来)
従業員数18人

新たな
雇用創出数

4人

事業費

約1,010万円(平成23年度)

事業期間

平成21年4月
～
平成24年3月

業務内容

- ① 引きこもりや発達障害のある若者等を雇用し、外出困難者や高齢者等の外出時の付き添い・買い物代行・家事支援など、公的制度サービスでは対象とならない様々な生活支援を行う。
- ② 見守り支援が必要な高齢者等や、支援に協力する有償ボランティアの発掘を行い、雇用したコーディネーターにより、支援ニーズと提供サービスのマッチングを行う。



大きな家族のような気持ち
でつながりあう！

助けてくれて『ありがとう』
必要とされてくれて『ありがとう』



地域力を活かした「たすけ愛活動」

活動紹介

ふれあい・たすけ愛サービス事業

仕組み

特定非営利活動法人子ども劇場笠岡センター
ふれあい・たすけ愛サービス事業事務局
◆ふれあい会員の登録、紹介

協力依頼

内容の打合わせ、確認等
コーディネート業務

支援依頼



■活動の種類：

- ・同行・外出支援
- ・買い物代行
- ・家事支援
- ・話し相手
- ・見守り支援 など

利用者のニーズに応えた活動

■ポイント

※共助(助け合い)のしくみ
協力会員、依頼会員と区別せず
全員が「ふれあい会員」として登録

私が困った時に、
助けてくれる
だれかがいる。

私ができることを、
困っている人に
提供することで、
役立感がアップする。

私自身が豊かになる

■公的サービスでは対象とならない様々な生活支援を、地域力を活用し「困った時はお互い様」の気持ちで行う、有償ボランティア活動（時間通貨を用いた活動）です。

※時間通貨：法定通貨とは異なり、当該事業において、会員間のみで使用することができるコミュニティ通貨



会員同士の交流は、生活機能低下の防止にもつながります。



気になっていた台所の掃除などもお手伝いします。

事業終了後の事業継続 ・雇用継続への展開

- 困った時に「助けて」といえる共助の仕組みの構築は、生きがいをもち、安心して尊厳ある豊かな生活ができる地域の創出につながった。当面は、自治体等の支援を受けながら、自主事業として実施する予定であるが、時間通貨を用いた活動の拡大を図ることで、安定的な事業の継続につなげたい。
- この事業を笠岡市だけでなく岡山県内外にも普及するため、ノウハウを持った職員を継続雇用し、当該システムのマニュアル化を図る予定である。

雇用再生障がい者等在宅就業支援事業【大分県】

事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業 【介護・福祉分野】

事業概要

就業を希望する在宅障がい者に、就業に結びつくITスキルを習得させるとともに、在宅でできる仕事を受注するシステムづくりを行うことで、在宅で就業したい障がい者を支援する。

委託先

NPO法人
障害者UP大分プロジェクト
従業員数5人

新たな 雇用創出数

2名
WEBディレクター:1名
営業担当 :1名

事業費

約1082万円(平成23年度)

事業期間

平成21年9月
～
平成24年3月

業務内容

就労を希望する軽度の障がい者へのWEB制作の講習を行い、専門的知識を持つスタッフを育成する。

就労支援として企業や団体よりホームページなどの制作物を受注し、その作業を障がい者スタッフに委託する。

福祉情報サイト「ほっとねっとナビ」開設・運営
(医療福祉機構の助成を受け行う)

これまでの障がい者への就業支援の中で、軽度障がい者への在宅ワークの就労支援が不足していました。

また、専門的なスキルをもった職業指導員や仕事を受注活動する人員の確保もできていませんでした。

在宅ワークに適し、単価的にも高いWEB制作の技術の習得を目的に、講習会開催し、講習の終わった方々に、OJT方式で実力をつけて頂くように考えて実施しています。



障がい者スタッフとともに制作した
お客様ホームページ (一部)

活動紹介

①障がい者スタッフの育成

WEBクリエイター養成講座開講

インターネットの基礎知識からホームページ制作の基礎を学ぶ

生徒の作品



閉講式

得意分野に分かれてのスキルアップ講習

《デザイン編》



生徒の作品



《プログラミング編》

ホームページ制作に関するプログラミング

JavaScript

- ・プルダウンメニュー
 - ・タブ切り替えメニュー
- など

PHP

- ・データベース
 - ・WordPressカスタマイズ
- など

②受注物の制作

営業担当スタッフが企業や団体からのホームページ制作、更新の受注を行います。

受注した仕事は障がい者スタッフの適正に合わせて、WEBディレクターが分担して行います。

作業はデザインとコーディングに分かれます。コーディングのスキルは習得が比較的容易ですが、デザインは持っているセンスが影響するため、ある程度素質のある人を選ぶ必要があります。

ホームページ制作作業のほとんどはスタッフの自宅で行うことができます。スタッフの希望、ソフトの必要性に応じ、自宅または事務所にて作業を行います。自宅で行う際はスタッフのモチベーションの維持、また、精神的負担を軽減するため、十分なフォローが必要だと感じます。

③福祉情報サイト「ほっとねっとナビ」の開設



独立行政法人福祉医療機構からの助成を受け、高齢者・障がい者・介護者に有益な情報を集めた福祉情報サイト「ほっとねっとナビ」を開設しました。制作や運営には障がい者スタッフも携わっています。

障がい者版
高齢者版

[:http://h.hotnet-navi.com/](http://h.hotnet-navi.com/)
[:http://c.hotnet-navi.com/](http://c.hotnet-navi.com/)

障がい者スタッフの声



自分のスキルUPもでき、今後も勉強を続けていこうと思います。

右に左に
愉快的仲間
に囲まれ、
楽しかった！

HPを楽しく
作れるよう
になりました。

今後の姿と課題

今回延べ20人の軽度障がい者の方に講習を行いました。しかし、講習を進めていく過程で自分に適性がない、パソコンの仕事より他の仕事がしたいなどの気づきなどで離れた方が多かったのも事実です。

残った方は自主的にデザイン・プログラミングなどの勉強会を開きスキルアップをしていますし、在宅で仕事もできるようになってきました。今後も、各自の個性や適性にいろいろな仕事への就労支援が求められていると思いますので、この分野での団体や人のネットワークが必要と考えています。